兵庫消防

発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人　岸谷義雄
定価　1部44円
（購読料は分担金に含む）
題字　井戸知事

消したはず
決めつけないで
もう一度

平成二三年秋の叙勲（消防関係）伝達式が挙行

平成二三年秋の叙勲が一一月三日に発令されました。叙勲の受章者（消防関係）は、全国で六二二名、うち兵庫県では、元消防団員・吏員一五名が叙勲の栄に浴されました。

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

叙勲の伝達式は、平成二三年一一月八日（火）午前一一時一五分よりニッショーホールにおいて執り行われ、各代表者に叙勲が伝達されました。

伝達式に参列された方々

《全国消防関係受章者数》

瑞宝小綬章	三四名
旭日双光章	三名
瑞宝双光章	九一名
瑞宝単光章	四九四名
計	六二二名

兵庫県下受章者（消防功労）

◎瑞宝小綬章

元姫路市消防正監　堀中　義則

◎瑞宝双光章

元宝塚市消防正監　伊澤　聰

◎瑞宝単光章

元香寺町消防団　団長　市川　保博

元朝来市消防団　副団長　安部　秀次

元川西市消防団　副分団長　安東　陸雄

元上郡町消防団　副団長　沖　良幸

元三田市消防団　副団長　奥谷　愛藏

元赤穂市消防団　分団長　木村　音彦

元西宮市消防団　分団長　木村　政芳

元姫路市姫路西消防団　分団長　杉本　強

元西宮市消防団　分団長　鈴木　治男

元小野市消防団　分団長　竹内　順一

第二〇回全国女性消防操法大会に参加して

豊岡市女性消防隊
隊長　松村令子

私達、豊岡市女性消防隊は、一〇月一九日、横浜市で開催された「第二〇回全国女性消防操法大会」に県代表として出場しました。豊岡市女性消防隊は、豊岡消防団の団員と一般公募により入隊した隊員により編成され、昨年の一二月、それぞれに決意を持ち、大会までの訓練の日々がスタートしました。

数年振りの大雪となった冬。礼式訓練において厳正な規律を徹底的に教え込まれました。

桜満開な春。ポンプ・ホースを使用し、死に物狂いで操法技術の修得に励みました。

猛暑となった夏。訓練の日数が増える中、気力・体力も限界を越え、一瞬「大丈夫だろうか」と不安を感じる事も多々ありました。くじけそうになった時、「声を出していこう」「自分を信じ、仲間を信じて」と、ひたすら声をかけつづけました。

夏場以降、チーム力は向上し、士気の高揚・速さと、どんどんレベルが上がっていくのが実感でき、自分達の目指すべき操法の形が出来上がってきました。

豊岡市内には六つの消防団があり、その中から但東消防団と出石消防団の協力をいただき、各団が実施されている「操法大会」に、特別参加させていただきました。多くの観客の前で操法を披露するという経験を積み、自信を深め成長していく事ができました。

しかし何よりも、隊員の目の色を変え、一気に成長させたきっかけは、前回大会に出場された赤穂市消防団・赤穂市女性消防隊の皆さんの胸を借り、操法技術の指導・交流をもたせていただいた事です。あの日、初めて私達が目指すべき操法の姿がはっきりイメージすることが出来ました。

皆さんに励まされ、背中を押され、いよいよ迎えた全国大会。一組目で出場し、声高らかに競技がスタート。エンジンがかかり、目指す標的に全員の心が一つに集中した瞬間、一〇ケ月間の訓練の成果を発揮することが出来たと実感しました。

「優良賞（第九番目）受賞」という成績発表を聞き、その場にいた一同、歓喜の声が舞い上がり、それとともに、涙が溢れ出しました。

今日までご指導頂き、精神的に支え・見守り・応援してくださった多くの皆さんのお陰で、目標としていた上位入賞と、自分達が納得でき、お世話になった皆さんに感動を与えるという操法が出来たと思っております。

皆さんとの出会いや、日々の生活・消防活動を通じ、社会で活動できることに感謝いたします。

一生涯、誰もが経験出来ることのない機会に恵まれたことを大変、光栄に思っています。

ありがとうございました。

元淡路町消防団　分団長　中山　正義

元尼崎市消防団　分団長　橋本　洋一

元姫路市姫路西消防団　分団長　三村　博

やるぞ！！

火点的中！

平成二三年度 秋の褒章伝達式

～平成二三年秋の褒章が一一月三日に発令～

消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した方々に授与される藍綬褒章は全国で七三名、うち兵庫県では芦屋市消防団の岸本団長、姫路市飾磨消防団の富田団長が受章の栄誉に輝きました。

伝達式は平成二三年一一月一五日（火）にスクワール麹町「錦華」の間において平成二三年秋の褒章伝達式が行われ、代表者に褒章が伝達されました。

《兵庫県下受章者（消防功労）》

◎藍綬褒章

芦屋市消防団　団長　岸本　重男

姫路市飾磨消防団　団長　富田　重二

第一七回危険業務従事者叙勲が平成二三年一一月三日に発令

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。

受章者は、全国で瑞宝双光章三八六名、瑞宝単光章二三六名、計六二二名、うち兵庫県関係では、二一名の消防職員が受章されました。

兵庫県下受章者（消防関係）

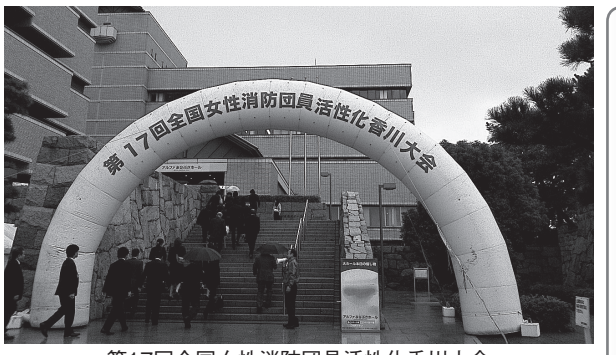
◎瑞宝双光章

元神戸市　消防正監　朝熊　一義
元神戸市　消防正監　飯原　隆夫
元宝塚市　消防監　上坂　正一
元尼崎市　消防司令長　宇都宮俊一
元姫路市　消防監　榎本　清宏
元神戸市　消防正監　大西　康弘
元尼崎市　消防司令長　梶元　健次
元神戸市　消防正監　冠野　隆三
元西宮市　消防監　桑田　智司
元神戸市　消防監　髙橋日出男
元相生市　消防司令長　出水　博文
元丹波市　消防監　中能　慶三
元神戸市　消防監　樋口　正勝
元西宮市　消防監　平田　恒久
元神戸市　消防正監　藤澤　隆夫
元神戸市　消防正監　藤原　義正
元淡路広域消防事務組合　消防正監　眞山　和良
元西宮市　消防司令長　山田　廣正

◎瑞宝単光章

元高砂市　消防司令長　小林　央昌
元丹波市　消防司令長　山中　邦雄
元芦屋市　消防司令長　米倉　義輝

第一七回全国女性消防団員活性化香川大会開催



第17回全国女性消防団員活性化香川大会

第一七回全国女性消防団員活性化香川大会が、平成二三年一一月一一日（金）に香川県高松市のアルファあなぶきホールで開催されました。式典に引き続き全日空ホテルクレメント高松にて情報交流会、翌一二日（土）には香川県内視察研修の日程で開催されました。

式典は、全国から女性消防団員を始め、消防職・団員が参加し、兵庫県からも岸谷会長以下総勢一一八名が参加しました。

加古川市消防団は、会場内でのパネル展示を行いました。

オープニングの高松市消防団ラッパ隊・高松市役所吹奏楽団による演奏に続き大会旗入場、開会宣言、国歌斉唱、主催者挨拶、開催地市長挨拶、来賓祝辞、来賓紹介と進行し、続いて四団体が活動事例発表を行いました。午後は三団体が火災予防啓発劇を行い、その後、平野啓子氏により『語りは心の絵画～語り伝える防災の心』という演題で記念講演が行われました。

その後、『女性消防団員活動の発展に向けて』というテーマでパネルディスカッションが行われ、そして最後に大会宣言と次回開催地の秋田県への大会旗の引継が行われ、閉会宣言の後に式典は幕を閉じました。

兵庫県からの参加団体は次のとおりです。

加古川市消防団女性分団のパネル展示

神戸市東灘消防団
神戸市灘消防団
神戸市兵庫消防団
神戸市北消防団有馬支団
神戸市北消防団道場支団
神戸市北消防団淡河支団
神戸市長田消防団
神戸市西消防団櫨谷支団
姫路市消防局
尼崎市消防団
芦屋市消防団
川西市消防団
加古川市消防団
小野市消防団
赤穂市消防団
豊岡市出石消防団
丹波市消防団
南あわじ市消防団
北はりま消防本部
○消防防災航空隊
兵庫県消防防災航空隊
猪名川町消防本部
佐用町消防本部
淡路広域消防事務組合消防本部
美方広域消防本部

「消防職団員への感謝の集い」開催

平成二三年一一月九日（水）、「消防職団員への感謝の集い」がイイノホールにおいて執り行われました。

三月一一日に発生した東日本大震災に際し、災害活動等に尽力した緊急消防援助隊をはじめとする全国の消防本部、消防団及び消防防災航空隊のほか、二月二二日発生したニュージーランド南島地震災害において、救助活動に尽力した国際消防救助隊員等の功績のあった消防機関等に総務大臣表彰及び消防庁長官表彰が授与されました。

東日本大震災関係として、全国で七五一消防本部、九一消防団、三九隊の消防防災航空隊が受賞しました。

そのうち兵庫県からは、県下全消防本部（二八消防本部）と兵庫県消防防災航空隊が総務大臣表彰を受賞しました。

県下の受章団体は次のとおりです。

総務大臣表彰

○消防本部

神戸市消防局
姫路市消防局
尼崎市消防局
明石市消防本部
西宮市消防局
芦屋市消防本部
伊丹市消防局
相生市消防本部
豊岡市消防本部
加古川市消防本部
赤穂市消防本部
宝塚市消防本部
三木市消防本部
高砂市消防本部
川西市消防本部
小野市消防本部
三田市消防本部
篠山市消防本部
養父市消防本部
丹波市消防本部
朝来市消防本部
宍粟市消防本部
たつの市消防本部

式典の様子

わがまちの団長さん ⑱②

「自立と共生」

姫路市家島町消防団
上田　辰雄

菅原道真が立ち寄ったとされる伝説があり、万葉集にも登場する歴史ある家島諸島は、姫路港から南西一八キロメートルを隔てた瀬戸内播磨灘の沖合い中央に位置し、有人である家島、坊勢島、男鹿島、西島の四島を中心とする大小四〇余りの島々から構成されています。また、自然が多く残る家島諸島は、海岸線が変化に富み、魚の宝庫で漁も盛んです。魚釣りや海水浴をはじめ、カヌー、ウインドサーフィンといったマリンスポーツを楽しむ人たちも多く訪れます。

家島町消防団は、四分団、一七〇名で組織され、島民の安全、安心を担っています。

上田団長は、昭和四九年に家島町消防団真浦分団に入団され、平成二三年四月に消防団長に就任されました。「自分たちの島は自分たちで守る」という強い使命感のもと消防団入団時から消防団長に就任した現在に至るまで消防団の活動能力の向上を願い、各種の実践的な訓練を実施し、緊急時に自ら判断し対応できる人材育成に心血を注いでこられています。

そんな団長ですが、普段は島の電器屋さんとして島内を明るくすることにも日夜忙しくされており、まさに瀬戸内のような穏やかな広い心をお持ちで、団員のみならず島民からも慕われ厚く信頼されています。

家島は離島であり水利不足を補うため、海水を使用した消火活動を実施する場合があります。急傾斜地、狭隘な道路といった活動困難な場所が多く、消火活動は困難を極めます。また、消火活動のほか台風や高潮に対し被害を最小限に食い止めるべく防災活動にも強い気持ちで取り組まれています。

平成二三年度から家島・坊勢島に消防出張所ができ新しい体制がスタートしました。上田団長は、新しい環境の下でも島民ひとりひとりの防火防災意識を高めつつ、常備消防との協力体制をより強化し、昼夜を分かたず地域の安全安心に大きく貢献する防災リーダーとして幅広く活動し、地域防災力の強化を目指していくことを考えておられ、今後一層の活躍が期待されます。

地区通信

川西市消防団第一一分団「チエリーファイアー」活躍中！

川西市消防団第一一分団は平成五年に女性消防団員の分団として組織され、現在一八名で活動しています。愛称の「チエリーファイアー」は川西市木の「桜」にちなんで名付けられました。主な活動は、各種イベントや自治会などでの防火・防災の啓発活動、救命講習会での指導、市水防訓練・防災訓練、春・秋の火災予防週間中の消火訓練への参加、猪名川花火大会や年末特別警戒での警備などです。

チャレンジ精神旺盛な女性団員は、本年の四月二四日に救助訓練を体験しました。訓練は救助隊員の指導のもと、準備体操、ランニングから始まり、結索訓練、渡過訓練、降下訓練と続き、最後に梯子車の搭乗訓練です。渡過訓練では訓練途中の団員が救助隊員に救助されるハプニングもありましたが、参加した団員は日頃の運動不足を後悔しながらも精一杯訓練に取組んでいました。ほとんどの団員は翌日、人によっては翌々日ひどい筋肉痛に悩まされたそうです。

それでは、女性団員の感想を紹介します。

A団員「最初は準備運動、次はえっ！ランニング。訓練場の一周目は何とかクリア。二周目半できつくなり、これで終わりと思ったら、え～！三周目に突入。終わった頃にはもうクタクタになり、次は渡過訓練。最初はスースーと渡っていけたのですが、ゴール近くになると気持に体がついてこず、やっとの思いで何とかゴール。自分の体力と筋力のなさを感じるとともに、目の前で見る救助隊員の動作に、日々訓練の成果だと敬服する思いでした。」

B団員「チロリアン渡過訓練。説明を受け模擬演習を見て、「絶対無理やぁ。途中で止まって救助される」と不安でいっぱい。すぐに自分の番がきて、高さは平気だったんですが「体力がなぁ」と思ったと同時に「絶対救助されたくない！絶対向こう側にたどり着く！」と心に決めスタート、無我夢中で気がつけば到着していました。」

C団員「梯子車搭乗訓練では、上に上がるにつれ、心の中で「もう降して」と叫び続けましたが、降りられるはずもなく、地上四〇メートルの世界へ。高さも忘れる程に、綺麗な景色でした。」

D団員「私の人生で普通はありえない救助訓練を体験させていただきました。参加する前は、この年齢で体力が?とかいろいろと不安要素満載で…順番も後回し後回しであよくば時間が足りず、私の前で終わってくれないか！とさえ思ってました。でも、順番は回ってきます。半ばやけくそで挑みました。終わってみればなんとも言えない達成感！梯子車も不謹慎ではありましたが、あそこから見える絶景に感動し「気持ち良いですね」ともらしてしまいました。」などなど。

この訓練を体験した団員の共通の感想は、「人の命を守るために、日々訓練されてる救助隊員の皆様に感謝の気持ちで一杯です。そして、消防団員として少しでも市民のお役に立てればと改めて感じました。」

訓練の最後に消防団長から、「一一分団の皆さん、川西市民の安全・安心のためしっかり頑張ってください」との激励の言葉に、皆気持ちを新たにしていました。

われら若手消防団員 〈44〉

「入団六年幹部となって」

三木市消防団
別所第四分団下石野班
分団長　前田　博哉

私は平成一七年四月に三木市消防団に入団しました。

私が管轄する下石野は、市内から流れる美の川と加古川の合流地点にあたり、戦国時代には加古川から高瀬舟で水軍による三木城への物資輸送や街道往来の要衝となっていた地域です。また、四世紀末に作られた県下一〇番目の大きさを誇る前方後円墳の愛宕山古墳もあり歴史とロマンに満ち溢れた地域です。

さて、話を消防団に戻しますが、入団の二年前に近くで民家が全焼する火事があり、消火活動を懸命に行っている先輩団員の姿を見て、自分も地域で何かできればと感じたのがきっかけでした。

市外に勤務していた関係で、あまり地域に関わりも無く同世代との交流も年一回の祭りぐらいしかなかった私ですが、先輩団員の勧誘もあって、なんの抵抗もなく消防団に入りました。

同世代の若者や地域の人たちとの関わりも増え消防団に入り良かったと感じている昨今です。

入団して六年これまで大きな火事もなく、今年から分団長として下石野班一三名の長となりましたが、三月一一日に発生しました東日本大震災や八月から九月に日本列島を襲った台風のニュースなどを見るたびに、このような大災害が自分の住んでいる地域で発生したら・・・自分は何ができるのか不安が過ぎり幹部としての重責を痛感しています。

機具点検や操法訓練などはほとんどが日曜や夜間のため、仕事の関係で平日が休みの人や夜帰りが遅い人など、全員が揃うのは年末警戒ぐらいですが、同じ志を持つ一三名の団員と共に和気アイアイとした家族的な雰囲気に努め、地域の方とのコミュニティを一層高めていくことが、大災害時の活動に大きく貢献できるものと信じ微力ながら今後も頑張りたいと思います。

最後に、私の班でも若手団員の勧誘を行っていますが、勤務地が遠方だったり、団を経験されたお父さんが息子は消防団に入れさせないなど、団員確保に苦慮しています。

「若者よ、来たれ我が消防団、共に力をあわせ、ふるさとを、家族を守ろう！」

故郷を歩く

「瓦（かわら）ぬ愛を誓う」

南あわじ市消防団

淡路島南岸の海に切り立つ急斜面に、約五〇〇万本の野生スイセンが群生します。その多くは、一重咲きのニホンスイセン。ここ灘黒岩水仙郷は、今から約一八〇年前に付近の漁民が海岸に漂着した球根を山に植えたのがだんだんと繁殖したとされていて、今ではここ淡路島南部に位置する標高約六〇八m・諭鶴羽山から海に続く四五度の急斜面の一帯、約七haにわたって野生スイセンが咲き誇ります。一月を中心に一二月下旬から翌年の二月下旬まで付近一帯、甘い香りに包まれます。ぜひこの兵庫県最南端部に来ていただき春の前ぶれを感じてみませんか。

続いては、瓦ぬ愛を誓ってみませんか?瀬戸内国立公園（環境省）に指定された慶野松原は瀬戸内随一の白砂青松として広く知られており、南北約二・五kmの砂浜に数万本の松が樹立しています。

また、ここから見る播磨灘の夕景は多くの人々を魅了しているほか、夏には海水浴客やキャンプを楽しむ家族連れが多く訪れます。

さらに、慶野松原を散策できる「プロポーズ街道」も人気を集めています。

慶野松原内には、瓦（かわら）ぬ愛を誓うプロポーズ街道があり、日本一のいぶし瓦と白砂青松、海、夕焼けがロマンチックな散策へと導いてくれます。

また、プロポーズ街道には、プロポーズや誓いの言葉を刻んだハート型の瓦が並び、散策する人もちょっぴり幸せな気分になります。プロポーズや誓いの言葉を瓦に刻みたい方は、国民宿舎慶野松原荘へお申し込みください。

プロポーズ街道に使われるこの瓦は淡路瓦といわれ、発色の美しさと色もちの良さが際立ちます。市内には自然環境と調和した瓦のモニュメントが数多く見られ、受け継がれた伝統美が感じられます。

最後になりましたが、南あわじ市は、全国に名を馳せる「食」の宝庫であり、日本一甘い玉葱、最高級品の鯛やハモ、「淡路島牛乳」や高品質の「淡路ビーフ」など地域の人々が日々試行錯誤しながら、丁寧に生み出してきた「食」があります。ぜひご賞味あれ。

プロポーズ街道

灘黒岩水仙郷

消防団今昔 ㊹

「消防団活動を振り返って」

加古川市消防団
副団長 松本　慶治

私は、昭和四四年四月一日に加古川市消防団に入団し、現在で四二年の消防団活動になります。加古川市消防団は、私が入団した当時、一団一二分団で定数は二，〇〇九人でしたが、現在は一団一九分団で、定数は一，二〇〇人で活動しています。

昭和四四年当時は、地域の青年団を終えると消防団へとの流れのなか、若者も多く、地域活動に積極的に参加し、住民にも喜ばれておりました。しかし近年では、常備消防の充実強化や消防団活動の変化により、消防団員確保に苦労しており、各家庭に勧誘に回るなど、尽力しているところであります。

また、市名由来の「加古川」ですが、普段は市民の憩いの場でありますが、台風等によりひとたび暴れだすと、まさに脅威であり、昭和五八年九月の台風一〇号におきましては、一日降雨量が二八五ミリメートルに達し、加古川本流右岸地区の堤防下部が激流に洗われて決壊寸前となり、自衛隊及び建設省の協力を得て水防活動を行ったのを経験に、各関係機関、常備消防及び地域住民との連携は非常に重要であり、訓練を通して若手団員に伝授していかなければと痛感いたしました。

最後になりましたが、東日本大震災で被災されました皆様の早なる復興を祈念するとともに、これまで得た経験を駆使し、地域住民のつながりを大事にする消防団活動に精励してまいります。

ひょうご安全の日のつどい

兵庫県

阪神・淡路大震災から一七年目を迎える平成二四年一月一七日（火）に、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、一．一七を忘れずに語り継ぐため、ひょうご安全の日のつどいとして「一．一七ひょうごメモリアルウォーク二〇一二」「一．一七のつどい」「交流ひろば・ステージ」「防災訓練」を次のとおり実施します。多くのご参加をお待ちしています。

実施内容

一　一．一七ひょうごメモリアルウォーク二〇一二

①一般コース
②帰宅訓練コース

二　一．一七のつどい

①会場：人と防災未来センター慰霊のモニュメント前
②時間：二時五〇分～一二時三〇分（献花は、一七時まで実施）
③内容：黙とう、県民のことば、献唱、一．一七ひょうご安全の日宣言、献花など

三　交流ひろば・ステージ

①会場：なぎさ公園
②時間：一〇時三〇分～一五時
③内容：防災啓発展示、炊き出し、ミニコンサート、東日本大震災被災地の物品販売など

四　防災訓練

①会場：なぎさ公園
②時間：一三時～一五時
③内容：参加型防災訓練、海上防災訓練の見学など

問い合わせ先

ひょうご安全の日推進県民会議事務局（神戸市中央区下山手通五丁目一〇―一　兵庫県復興支援課内）
TEL〇七八―三六二―九九八四

【お詫びと訂正】

「兵庫消防」平成二三年一一月一五日発行第六三五号の「第二〇回全国女性消防操法大会」において、タイムを誤って掲載しておりました。

お詫び申し上げますとともに、次のとおり修正いたします。

正　タイム『五六・六一』
（誤　タイム『五六・九一』）

東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭

日本消防会館ニッショーホールにて挙行される

東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭が、平成二三年一一月二九日午前一〇時三〇分から日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている諸霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消火活動を行い、不幸に命の危険を顧みることもなく懸も殉職された全国の消防団員・職員・及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回あらたに二三九柱という未だかつて無い多数の御霊が合祀されました。その殆どは本年三月一一日に発生した東日本大震災において殉職された方々です。

式典には兵庫県から、岸谷会長をはじめ新合祀ご遺族二名が参列し、全国からの多数の遺族の方々と共に、今は亡き肉親の魂との再会を待つ中「御霊の奉納」が行われ、黙祷を捧げた後、引き続き高木日本消防協会長の式辞、天皇皇后両陛下のご供花、多数の来賓から追悼のことばが贈られ、最後に遺族代表のことばがありました。その後は、参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌（木遣り）が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなり、年末警戒や年明けには出初式を控え、皆様方におかれましては、普段にもまして、お忙しい日々を過ごされていることと思います。

さて、今月号では、秋の叙勲、秋の褒章、危険業務従事者叙勲について栄えある叙勲の栄に輝かれた方々を掲載しております。

また、豊岡市女性消防隊の全国女性消防操法大会優良賞受賞にあたり、松村隊長からご寄稿いただきました。他にも各地区、各支部から多数寄稿していただき、ありがとうございました。

年の瀬を迎え、慌ただしい時期かと思いますが、くれぐれも体調を崩されないようご自愛ください。

平成２４年消防出初式日程表（１月実施分）

地区	実施日	市町名	開始時刻	場所
神戸地区	1月8日(日)	神戸市	10：00	メリケンパーク
阪神地区	1月7日(土)	西宮市	9：30	武庫川河川敷公園
		伊丹市	10：00	昆陽池公園多目的広場
	1月8日(日)	尼崎市	10：00	尼崎市立中央中学校グラウンド
		川西市	8：30	川西市立川西北小学校及び川西市文化会館
		芦屋市	10：00	芦屋市立体育館及び川西運動場
		宝塚市	10：00	宝塚市西谷中学校グラウンド
		猪名川町	9：30	猪名川町文化体育館
東播磨地区	1月8日(日)	明石市	9：45	明石市役所周辺及び明石市民会館
		加古川市	9：00	加古川市防災センター及び加古川市防災センター西側河川敷
		高砂市	9：30	高砂市野球場周辺及び高砂市総合運動公園
		加古郡（稲美町、播磨町）	10：00	播磨町立蓮池小学校グラウンド
中播磨地区	1月8日（日）	姫路市	9：30	シロトピア記念公園
		市川町	9：00	川辺小学校グラウンド
	1月15日（日）	福崎町	9：30	田原小学校グラウンド
西播磨地区	1月8日(日)	相生市	9：30	中央公園及びポート公園
		たつの市	9：30	揖保川河川敷千鳥ヶ浜グラウンド
		上郡町	9：30	上郡町役場駐車場
	1月15日(日)	赤穂市	9：30	千種川河川敷公園
		太子町	9：30	太子町総合公園
但馬地区	1月6日(金)	豊岡市城崎	9：00	城崎小学校体育館
	1月8日(日)	豊岡市豊岡	9：00	豊岡市民体育館
		豊岡市竹野	9：00	竹野中学校体育館
		豊岡市但東	9：00	但東市民ホール
	1月9日(月)	豊岡市出石	9：00	出石文化会館
丹波地区	1月8日(日)	篠山市	10：00	たんば田園交響ホール
淡路地区	1月8日(日)	洲本市	9：00	洲本市文化体育館
		南あわじ市	9：30	三原健康広場グラウンド
		淡路市	10：00	淡路市防災あんしんセンター多目的グラウンド